

## 》》 お知らせ

### クラウドファンディング、その後のご報告

先月のニューズレターでご報告しましたとおり、インターネットのサイト、レディフォーにて当館への支援募集を行ったプロジェクトは、272人の方から3,579,000円のご支援をいただき、10月23日に成立いたしました。

ご支援くださった方には金額に応じて、ポストカードや、台本カバーにお名前を記載するなどの特典をさしあげることになっています。

プロジェクト成立後から職員は、サンクスメールの送信、支援者名簿の作成、ポストカードの発注、支援者のお名前を書込むのに必要なゴム印の発注、台本カバーの作り直しなどの作業を行いました。ポストカードは11月21日に納品され、発送準備作業を始めました。

一方、5万円の支援をしてくださった方を対象とした図書館見学会を11月29日（木）に開催し、参加を希望された方々を御招待いたしました。毎月最終木曜日は書庫整理のための休館日となっておりますが、その休館を利用して午前と午後の2回、見学会を行いました。午前も午後も内容は同じで、閲覧室で当館の沿革、資料内容、検索方法について簡単に紹介した後、書庫内をご案内しました。また、特別に非公開の博物資料も展示してご観いただきました。

午前の回は、急用や風邪で欠席となってしまった方もあり、ご参加の方はお一人でしたが、気軽に質問や感想をやりとりして、楽しく進めることができました。午後の回は9名の方がご参加くださり、書庫内の見学は二つのグループに分けてご案内しました。

所蔵資料の説明をしながら書庫を一周すると約1時間かかりますが、参加者の皆様は熱心に見学してくださり、あっという間に時間がたってしまった。

この見学会で当館のことをより深く知っていただくことができたのではないかと考えております。

今後とも当館をご活用くださるよう、また引き続きご支援を賜りますようお願いして、見学会を終了いたしました。

翌30日に、ポストカードや一筆箋などの品々を支援者の皆様に発送いたしました。ホームページでのお名前の掲載は12月7日を予定しております。台本カバーへのお名前の記載は、12月中に完了すべく、作業を進めてまいります。平成24年度の図書館事業に関する報告メールは、来年4月下旬頃の送信を予定しております。

ご支援くださった皆様への感謝の気持ちをお伝えできましたら幸いです。



**歌舞伎や『寅さん』、大切な日本の文化の宝箱を守る。**  
by 須貝弥生

松竹大谷図書館は歌舞伎や、映画の貴重な資料を数多く所蔵しており、日本の文化が所狭しと詰まっています。日本が紡いできた文化を守るプロジェクト。

**プロジェクトが成立しました！**

達成率	達成金額	終了日
178%	3,579,000円	10月23日

Readyfor?  
プロジェクトページ  
成立後の画面より



■ 松竹系 11月公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『双蝶々曲輪日記 井筒屋・難波裏・引窓』	○	○	○	○
	『人情噺文七元結』	○	○		
	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』	○	○		
	『汐汲』		○		
	『四千両小判梅葉 四谷見附より牢内言渡しまで』	○	○		
	第十八回日本俳優協会賞表彰式			○	
	第242回子供歌舞伎教室			○	
明治座	『傾城反魂香 高嶋館・竹藪・土佐将監閑居』	○		○	○
	『蜘蛛糸梓弦』	○			
	『通し狂言 天竺徳兵衛新噺』	○			
南座(京都)	『滝の白糸』	○		○	○
	『麥秋』	○			
	舟木一夫シアターコンサート in 南座				
松竹座(大阪)	第24回堂本剛独演会 小喜利の私				
	『鼓(つづみ)』	○		○	○
	『駕籠や捕物帳』	○			
博多座	『Musical ジェーン・エア』	○		○	○
永楽館	『実録忠臣蔵 大石妻子別れ』	○		○	
	『お目見得口上』				
	『湧昇水鯉滝 鯉つかみ』	○			
金丸座	『雪』			○	○
	『鐘ヶ岬』				
	『いぶき』				
大塚国際美術館	『主天童子』	○		○	
地方巡業	『吉原雀』			○	
	『秋の色種』				
	『近江のお兼』				
	『大原女・国入奴』			○	○
	東海道松竹落語会				
	『歌舞伎のみかた』				
	『御所桜堀川夜討 弁慶上使』	○			
『手習子』					
地方巡業(学校巡業)	『歌舞伎の世界で遊ぼう』			○	
	『勸進帳』より「滝流し」				
	『雨の五郎』				
	『鷺娘』				

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

(新規登録資料案内 続き)

■ 他社公演資料 ■

青山円形劇場	10月	『サ・ビ・タ 雨が運んだ愛』プログラム
赤坂RED/THEATER	11月	『産まれた理由』プログラム、台本 『行方不明』プログラム
吉祥寺シアター	10月	『無明長夜(むみょうじょうや) 異説四谷怪談』プログラム、台本
	11月	『楽園』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	11月	『タネも仕掛けも』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	10月	『タカレ六郎の仇討ち』プログラム、台本
	11月	『おじクロ』プログラム
国立劇場小劇場	10月	『琵琶の会・新内の会』プログラム 『文楽素浄瑠璃の会』プログラム
	11月	『融通念佛宗総本山 大念佛寺の声明 万部法要』プログラム
国立劇場大劇場	10月	『伝統音楽の美 日中伝統の音を聴く』プログラム
	11月	『通し狂言 浮世柄比翼稲妻』プログラム
座・高円寺1	10月	『端敵★天下茶屋』プログラム、台本
ザ・スズナリ	10月	『竜馬の妻とその夫と愛人 と、歌使いの唄』プログラム
	11月	『峠越えのチャンピオン』プログラム
シアタークリエ	10月	『DRAMATICA/ROMANTICA V』プログラム
シアターサンモール	10月	『PHANTOM 語られさりし物語』プログラム
世田谷パブリックシアター	10月	『こんばんは、父さん』プログラム、台本
帝国劇場	10月	『8月31日 夏休み最後の日』プログラム
中野テアトルBONBON	10月	『文体の獣』プログラム
俳優座劇場	11月	『いのちの渚』プログラム、台本
博多座	10月	『博多座十月コロケ錦秋喜劇公演』プログラム
パルコ劇場	10月	『ヒッキー・ソトニデテミターノ』プログラム
御園座	11月	『北島三郎特別公演』プログラム
薬師寺境内	10月	『世界遺産薬師寺奉納歌舞伎舞踊公演』プログラム
代々木能舞台	10月	『シベリア 銀波楼という名の娼家』プログラム、台本
ル テアトル銀座	10月	『樹海』プログラム 『ルーマーズ 口から耳へ、耳から口へ』プログラム
	11月	『招かれざる客』プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『ねらわれた学園』	○	○	○		
『黄金を抱いて翔べ』	○	○	○		
『ロックアウト』	○	○	○		

■ 映画プログラム ■

『人生の特等席』	『ウーマン・イン・ブラック 亡霊の館』	『砂漠でサーモン・フィッシング』
『悪の教典』	『劇場版 私立バカレア高校』	『危険なメソッド』
『終の信託』	『リンカーン/秘密の書』	『のぼうの城』
『JAPAN IN A DAY [ジャパン イン ア デイ]』		『綱引いちゃった!』
『劇場版イナズマイレブンGO vs ダンボール戦機W』		『恋のロンドン狂騒曲』
『カラスの親指』	『任侠ヘルパー』	『007 スカイフォール』
『復活 尾崎豊 YOKOHAMA ARENA 1991. 5. 20』		

## ■ 演劇雑誌 ■

- 『a a f 通信』2012年11月  
『あぜくら』平成24年11月号  
『舞踊芸術』2012年12月号  
『C o n f e t t i』2012年DECEMBER  
『伝統文化新聞』2012年(78号)  
『演劇ぶっく』2012年12月号  
 〔《特集》表紙のヒト 古田新太・三浦春馬／演劇 f f フォルティッシモ！ PART 2〕  
『悲劇喜劇』2012年12月号  
 〔《特集》演劇書／追悼・大滝秀治 《インタビュー》市川猿之助 《掲載戯曲》『ぼくに炎の戦車を』  
 鄭義信〕  
『邦楽の友』平成24年12月号  
『ほうおう』2013年1月号  
 〔《インタビュー》尾上菊五郎 《特集》第五期歌舞伎座のお知らせ／松竹新喜劇通信V o 1 . 3 / 新派  
 四季暦 新派百二十五年！木下恵介監督のコメディ映画の舞台化で幕開き！〕  
『上方芸能』2012年12月(186号)〔《特集》花萌ゆる いま OSK90周年〕  
『喝采』2013年2月〔《特集》二月博多座大歌舞伎 中村勘九郎インタビュー〕  
『メセナnote』2012年Winter 75号〔《特集》メセナアワード2012〕  
『ミュージカル』2012年11月-12月号〔《特集》『RENT』〕  
『日本芸術文化振興会ニュース』平成24年12月号  
『日本照明家協会雑誌』2012年11月号  
 〔《インタビュー》瀬井貴之さんに聞く 《特集》2012年ロンドン五輪在京6局 協力体制の確立！！  
 / 東京芸術劇場 施設改修工事～機能維持と機能向上～〕  
『日本舞踊』64巻12月号  
 〔《特集》演目解説 一中節 鉢の木／舞踊写真教室 新内舞踊曲 狐の絵草紙(三)〕  
『日本舞踊協会報』2012年10月  
『大向う』平成24年11月号  
『ラ・アルプ』2012年12月号  
 〔《特集》『キャッツ』広島公演開幕記念 俳優座談会／『リトルマーメイド』ロン・コーレン氏インタ  
 ビュー ディズニー・プリンセスとアラン・メンケン〕  
『三味線音楽普及の会だより』2012年9月No. 12  
『シアターガイド』2013年1月号  
 〔《特集》「JOHNNYS' World」Hey! Say! JUMP 堂本光一 滝沢秀明 舞台レポ  
 寄稿／「祈りと怪物～ウィルヴィルの三姉妹～」ケラリーノ・サンドロヴィッチ&蜷川幸雄 生瀬勝久〕  
『ステージぴあ』2012年11月号  
『テアトロ』2012年12月号  
 〔《特集》追悼 さようなら、大滝秀治さん／演劇人・大ベテラン—豊穰の時— 《掲載戯曲》「とおりゃ  
 んせ フタ・ゼロ・ヒト・ヒト」岡安伸治／「白浪五人女」藤田傳〕

## ■ 映画雑誌 ■

- 『文化通信ジャーナル』2012年12月号〔《インタビュー》大角正 松竹(株)取締役映像副本部長〕  
『ドラマ』2012年12月号  
 〔《特集》第37回創作テレビドラマ大賞 受賞作発表 《掲載シナリオ》「結婚しない」1・2・3話 山  
 崎宇子 坂口理子〕  
『映画テレビ技術』2012年12月号  
 〔《特集》映画『グッモーエビアン!』山本透監督に聞く／NHK取材班～アリュージュの海に挑む～/  
 昨今メディア事情～IBC2012に見た映像技術動向〕  
『映画芸術』2012年秋号(441号)〔《特集》日本映画、闇を描く〕

(新規登録資料案内 映画雑誌 続き)

『映画撮影』2012 Nov No. 195

〔《特集》撮影報告：『東京家族』『みなさん、さようなら』『その夜の侍』『カミハテ商店』『津波のあとの時間割』『放射線を浴びた [X年後]』〕

『映画時報』2012年11月号

〔《特集》第25回東京国際映画祭総括/W・ディズニー、2013～15年LINE-UP〕

『映画秘宝』2013年1月号

〔《特集》決定!007ボンドガール総選挙!!/『ホビット 思いがけない冒険』大予習講座!/追悼・若松孝二〕

『映画論叢』2012年(31号)

〔《特集》原節子の恋人として 俳優・伊沢一郎伝(1)/翻訳映画人探見録 東健而〕

『衛星劇場プログラムガイド』2012年12月号

『キネマ旬報』2012年11月下旬号

〔《特集》俳優・草薙剛の生きる道/悪漢に捧げるバラード アーネスト・ボーグナイン〕

『キネマ旬報』2012年12月上旬号

〔《特集》クリント・イーストウッド、映画と遊ぶ「人生の特等席」/追悼 7人の名優に贈る最期の言葉〕

『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No. 25

『ムービー・スター』2013年1月号

〔《特集》美しきクセモノ俳優たち『SHERLOCK/シャーロック』ベネディクト・カンバーバッチ〕

『日経エンタテインメント!』2012年12月号

〔《特集》“好き”が消費量動かす アニメパワー2012〕

『ロケーションジャパン』2012年12月号〔《特集》井上真央/日本全国ロケめしネタ帖/阿部寛〕

『SCREEN』2013年1月号〔《特集》2013年に見られる映画、見るべき映画全ラインナップ!!〕

『シナリオ』2013年1月号〔《掲載シナリオ》『たとえば檸檬』吉川次郎/『黒い十人の女』和田夏十〕

『シナリオ教室』2012年12月号

〔《インタビュー》那須真知子/柴田豪子 《掲載シナリオ》『北のカナリアたち』那須真知子〕

『シネ・フロント』2011年11月号〔《特集》追悼：進藤兼人/かぞくのくに〕

『松竹(社報)』2012年(172号)

## ■ 書 籍 ■

『'95夏こどもたち未来 児演協20周年記念誌』

日本児童・青少年演劇団協議会(児演協)

『遙かなるハリウッド 青木鶴子の生涯』

産経新聞

『福田恆存対談・座談集 第六巻 劇場を廃墟とする前に』 福田恆存(著)

玉川大学出版部

『弔辞 劇的な人生を送る言葉』 文藝春秋(編)

文藝春秋

『わたしの雷蔵』 石川よし子(編)

国書刊行会

『家元探訪 未来を見据える十人』 河村常雄(著)

出版研究センター

『KAKUTA 15th Anniversary』

KAKUTA

『亀治郎の肖像』 市川亀治郎・2世+齋藤芳弘(著)

文化学園文化出版局

『キネマ旬報ベスト・テン85回全史1924-2011』

キネマ旬報社

『現代映画用語事典』 山下慧+井上健一+松崎健夫(著)

キネマ旬報社

『中国人留学生と新劇展』

早稲田大学演劇博物館

『常磐津節演奏者名鑑 第1巻』

常磐津保存会

『中村勘九郎の新世界 憧れの名跡を襲名するまでの軌跡』 篠山紀信(写真)

世界文化社

『日活向島と新派映画の時代展』 上田学(編)

早稲田大学演劇博物館

『日本劇映画作品目録 平成23年』

日本映画製作者連盟

『日本の映画ポスター芸術 カタログ』 東京近代美術館フィルムセンター(編)

国立美術館+東京国立近代美術館

『年鑑代表シナリオ集'10』

シナリオ作家協会

『ぶんらくの本』 国立劇場調査養成部+金森和子(編)

日本芸術文化振興会

『ボックスオフィス報告書 2009年ロンドン劇場協会』

日本演劇興行協会

『モンゴメリー・クリフト エリザベス・テラーの人生を狂わせた男』 井上義照(著)

人間の科学新社

## 第28回所蔵資料展示 生誕100年木下恵介

展示期間：2012年11月30日～2012年12月26日／於 閲覧室  
演劇・映画の専門図書館（公財）松竹大谷図書館

12月は、2012年に生誕百年を迎えた木下恵介監督の資料を紹介します。

木下監督は1912年12月5日静岡県浜松市に生まれました。1933年に松竹蒲田撮影所現像部に入社、撮影部を経て監督部に移り、島津保次郎監督、吉村公三郎監督らの助監督となります。1943年『花咲く港』で監督デビューし、同年に『姿三四郎』でデビューしていた黒澤明監督と山中貞雄賞を分け合います。以後、涙を誘う感動作、コメディ、文芸作、革新的芸術作品、社会派作品等多彩な映画を製作し、日本映画界の黄金期を代表する監督となります。1964年『香華』発表後松竹を退社。その後テレビ界へ進出し「木下恵介劇場」（後に「木下恵介アワー」と変更）等を手掛け、テレビドラマの分野でも多大な貢献を果たします。1979年には14年ぶりに松竹と組み『衝動殺人 息子よ』を発表。1988年に最後の作品『父』を発表し、1991年文化功労者に選出されます。全49本に及ぶ作品を遺し、1998年12月30日に86歳で亡くなりました。

次回2013年1月の展示は、同月の三越劇場の新派公演で上演される、木下監督の傑作喜劇『お嬢さん乾杯』（1949年）の映画資料一式を紹介する予定です。

### ●展示資料作品一覧●

#### 『花咲く港』（1943年）●スチール

監督：木下恵介、脚色：津路嘉郎、原作：菊田一夫

主な出演：小沢栄太郎、上原謙

戦時中の九州の小島にやってきた詐欺師二人が島の人々を騙そうとするが、人々の無邪気さに良心が咎め騙せなくなるという人情とユーモアに溢れた喜劇。

#### 『陸軍』（1944年）●スチール

監督：木下恵介、脚色：池田忠雄、原作：火野葦平

主な出演：田中絹代、笠智衆

戦地へ赴く息子を、田中絹代演じる母親が群衆をかき分けながら延々と追うラストシーンが有名。

#### 『破れ太鼓』（1949年）●プレスシート

監督：木下恵介、脚本：木下恵介・小林正樹

主な出演：阪東妻三郎、森雅之

時代劇の大スター阪妻が背広を着て頑固親父に扮し、現代劇に出演して話題になったホーム・コメディ。

#### 『カルメン故郷に帰る』（1951年）●スチール

監督+脚本：木下恵介、主な出演：高峰秀子、佐野周二

日本初のオール・カラー作品。十分な光量が必要なため殆どのシーンを晴天の屋外で撮影。二人のストリッパーが故郷信州の田舎で騒動を起こす喜劇。

#### 『女の園』（1954年）●スチール

監督+脚色：木下恵介、原作：阿部知二

主な出演：高峰三枝子、高峰秀子

封建的な教育方針を掲げる私立大学を舞台に民主的な改革を訴える女学生達と学校の対立を描いた作品。

#### 『二十四の瞳』（1954年）●プレスシート

監督+脚色：木下恵介、原作：壺井栄

主な出演：高峰秀子、月丘夢路

戦後の日本映画を代表する名作。瀬戸内海の小豆島を舞台に描かれる、女教師と12人の子供達の物語。



『破れ太鼓』プレスシート



『二十四の瞳』プレスシート

『野菊の如き君なりき』(1955年) ●スチール

監督+脚色：木下恵介、原作：伊藤左千夫

主な出演：有田紀子、田中晋二

農村に育った幼なじみの少年と少女の悲恋が、美しい信州の風景を背景に、抒情的に描かれた作品。

『喜びも悲しみも幾歳月』(1957年) ●スクラップブック

監督+脚本+原作：木下恵介

主な出演：高峰秀子、佐田啓二

日本全国各地の灯台を転々と赴任しながら、平凡だが真面目に生きていく一組の夫婦の年代記。



『喜びも悲しみも幾歳月』  
スクラップブック

『檜山節考』(1958年) ●スチール

監督+脚色：木下恵介、原作：深沢七郎

主な出演：田中絹代、高橋貞二

歌舞伎の様式を取り入れ、オール・セットで撮影された革新的な作品。

老婆を山へ捨てる残酷な物語を詩情豊かに描いた。ヴェネチア国際映画祭出品。

『笛吹川』(1960年) ●プレスシート

監督+脚色：木下恵介、原作：深沢七郎

主な出演：高峰秀子、田村高廣

戦国時代、笛吹川のほとりを舞台に、武田家の盛衰と運命を共にする百姓一家の年代記。

白黒の画面に部分的に彩色する実験的手法がとられた作品。

『香華』(1964年) ●台本(準備稿)

監督+脚本：木下恵介、原作：有吉佐和子

主な出演：岡田茉莉子、音羽信子

自由奔放な母親とその母親に振り回される娘。

明治・大正・昭和と半世紀以上に渡るふたりの女の一生を

2部構成で描いた大作。

木下恵介アワー「おやじ太鼓(第1部)」全39回放映

(1968年1月16日~10月8日) ●テレビ台本

監督：桜井秀雄・川頭義郎、脚本：山田太一・木下恵介

主な出演：進藤英太郎、風見章子

映画『破れ太鼓』をリメイクしたテレビシリーズ。

第12回よりカラーとなった。大人気を博し、続編として

第2部も製作された。



テレビシリーズ「おやじ太鼓(第1部)」台本  
1~39話(20、37話欠)

『衝動殺人 息子よ』(1979年) ●プログラム

監督：木下恵介、脚本：砂田量爾・木下恵介

原作：佐藤秀郎

主な出演：若山富三郎、高峰秀子

犯罪被害者の補償問題を取り上げており、木下監督の社会派としての一面が強く出た作品。

多くの木下作品に出演した高峰秀子の引退作でもある。

## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2012（平成24）年11月にご支援いただきました

#### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社衛星劇場

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

協同組合日本シナリオ作家協会

一般社団法人シナリオ作家協会

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

松竹映画劇場株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

財団法人 昭和池田記念財団

#### 個人（50音順・敬称略）

合田和子

辻和子

どうもありがとうございます

### 「寄贈いただきました」

十一月も、多くの出版社・著者・劇団・団体・大学・個人の方々から、多数の資料をご寄贈いただきました。どうもありがとうございます。

#### ■ 休館のお知らせ ■

平成二十四年十二月二十七日（木）より、平成二十五年一月九日（水）まで、年末年始休館とさせていただきます。  
平成二十五年一月十日（木）より通常どおり開館致します。

#### ■ 編集後記 ■

当館と同じくクラウドファンディングを行った「伝統芸能の道具ラボ」の活動報告会に参加してきました。鹿の子の髪飾りの復元のお話や、組紐の職人の方のお話など、興味深く聞くことが出来ました。開催場所は自由が丘の大塚文庫。茶室やギャラリーがあり、和の雰囲気溢れた静謐な空間でした。高台にあるため、二階から東京の風景が一望できます。当日は残念ながら曇りでしたが、晴れていれば富士山が見えるそうです。賑やかな自由が丘駅から数分のところにあることに驚きです。（あ）

#### ● 利用案内 ●

##### ● 開館時間

平日午前10時～午後5時

##### ● 休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、五月一日、十一月二十一日、年末年始、春期夏期特別整理期間  
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内に掲示します。

#### ● 入館料 無料

#### ● 交通案内

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分  
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

